

宗教を信じる(信念、信仰)とは いかなることか? —実証的宗教心理学の挑戦(4)—

企画・司会:松島公望(東京大学)

**日本心理学会第89回大会
公募シンポジウム**

[宗教心理学研究会 第22回研究発表会]

シンポジウムの構成

【話題提供】

1. 宗教学において「信じる・信仰」はどのように語られているか
藤井修平(國學院大學)
2. 祈りから読み解く「信じる」プロセス: 実証研究と体験を通して
袋本久美子(関西大学大学院)

3. 精神科臨床と宗教的契機—定点性をめぐって—

小笠原將之(関西福祉科学大学)

4. 「信念・信仰」から宗教性は捉えられるか

西脇 良(南山大学)

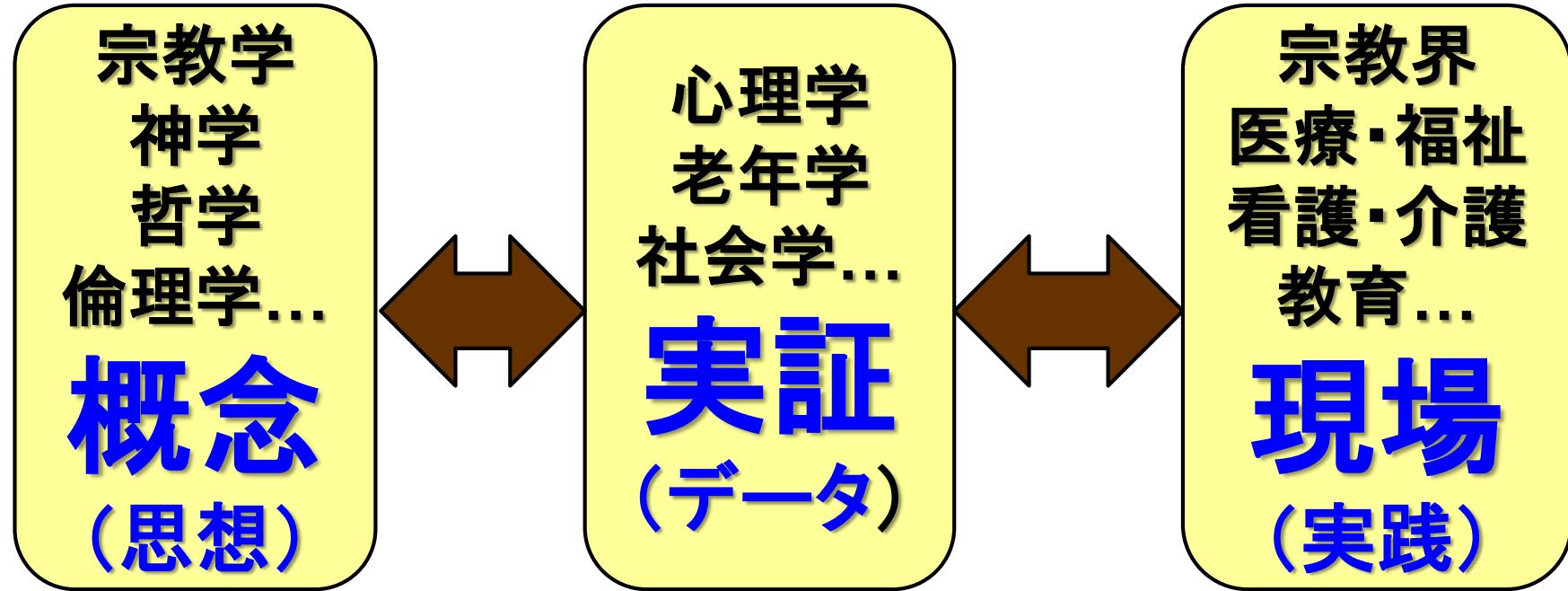
【指定討論】

河村従彦(カワムラカウンセリングルーム)

【フロアとの討論】

～「信じるとは何か」を再考する機会としたい

今回のテーマを始め、捉えることが困難である宗教、スピリチュアリティを追究していくための新たな連携・協働(新たな挑戦)の提案



起点(母体): 宗教心理学研究会、宗教／スピリチュアリティ心理学研究、「ユダヤークリスト教的文脈の脱構築を試みる宗教性／スピリチュアリティの実証的研究」に関する研究プロジェクト [プロジェクトの一部門が「**2021年度(第1回)日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞**」を受賞]

～そして、その先に描くのが～

“アジアとの対話、ユダヤークリスト教的文脈との対峙”
⇒実証的宗教心理学を起点とする「日本発の理論構築」への取り組み
その一歩が今回のシンポジウムである